



Hybrid Data Security に関する既知の問題

- (Hybrid Data Security でクラスタを削除するか、すべてのノードをシャットダウンして) Cisco Webex Control Hub クラスタをシャットダウンした場合、構成 ISO ファイルが失われた場合、またはキーストア データベースにアクセスできなくなった場合、Cisco Webex ユーザは、KMS でキーを使用して作成された [ユーザ (People)] リストに含まれるスペースを使用できなくなります。これは、トライアルと実稼働の両方の導入に当てはまりません。現在この問題の回避策や修正方法はないため、アクティブなユーザアカウントを処理した後で HDS サービスをシャットダウンしないことを強くお勧めします。
- すでに ECDH で KMS に接続しているクライアントは、一定期間 (1 時間程度) その接続を保持します。ユーザが Hybrid Data Security トライアルのメンバーになると、そのユーザのクライアントは既存の ECDH 接続をタイムアウトするまで使用し続けます。または、ユーザは Cisco Webex アプリからサインアウトしてから再びサインインすることで、場所を更新し、アプリが暗号キーを照会できるようにすることもできます。

組織のトライアルを実稼働に移行したときも、同じ現象が発生します。以前のデータセキュリティ サービスに対する既存の ECDH 接続を使用するすべての非トライアルユーザは、(タイムアウトまたサインアウトと再サインインによって) ECDH 接続が再ネゴシエートされるまで、これらのサービスを使用し続けます。

